

第9回東京大学果樹園跡地活用等検討委員会 会議要旨

開催日時		平成26年9月1日（水）14時00分～15時00分
開催場所		町民センター2階2Aクラブ室
出席者	委員	出席11名 村山邦夫委員、中村伸吾委員、池田雅男委員、高橋徹委員、宮戸健次委員（会長）、安藤宏孝委員、簗島喜好委員、平吹幸子委員、石坂一夫委員、神保智子委員、高見利和委員、
	その他	傍聴 1名
	町職員	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名 総務部公共施設課2名
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 二宮町東京大学果樹園跡地貸付（土地貸し）募集（A地区）の結果について (2) 二宮町東京大学果樹園跡地将来利用の方向性について 4. 閉会
配布資料		<ol style="list-style-type: none"> ① 次第 ②・資料1：二宮町東京大学果樹園跡地貸付（土地貸し）募集（A地区）の結果について ・資料2：二宮町東京大学果樹園跡地将来利用の検討イメージ図 ・資料3：二宮町東京大学果樹園跡地活用等検討委員会のスケジュールについて

■会議概要

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議 事 【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

(1) 二宮町東京大学果樹園跡地貸付（土地貸し）募集（A地区）の結果について

○オリーブの試験栽培について、木はすぐには大きくならないが、どのような試験を行うのか。将来計画に影響はないのか。

●面接の中で確認したが、オリーブは約20種類あり、二宮の気候に合ったものを検討するとのこと。返却時には、自分の土地へ移植する。移植自体は時期をみれば影響はないことを確認している。

○借りる人は自分の畑で栽培すれば労力も少なくすむのではないのか。なぜ利用したいのか。

●品種がいっぱいあるので、様々な品種を比べるために試験圃場として利用される。また、得た情報を町等と共有し、普及啓発に努める考えでいる。

(2) 二宮町東京大学果樹園跡地将来利用の方向性について

○以前議会で小学校移転と統廃合の話がでていたが方向としては変わらないのか。

●学校の統廃合は1例でしかない。町を全体的に捉えた中での将来像を考えていく。

○町の将来設計・構想について、東大の跡地をどう活用するかが焦点である。将来の町の姿をどう考えるのか。財政が厳しいから学校統廃合という流れでは難しいと思う。

○将来は何年後なのか。時限設定しないと検討は難しい。

●1つ1つの細かい部分ではなく、おおまかな方向性を考えていただきたい。

○将来計画として最終地点をどこに置くのか。また、検討する時限として長期的なのか短期的なものなのか。町の課題を整理していかないと検討が進まない。

○定住促進として今後町全体の魅力をどのように示していくのかが重要であると思う。

●長年の課題でもあるが、前は20年後の姿として資料をお示した。ターゲットイヤーを定め方向性をまとめていきたい。

○今後の委員会スケジュールはどのように考えているのか。また中間報告書とはどのようなものか。

●検討委員会の任期が定まっていないが、方向が定まるまでと要綱にあるため、最終的な決定の報告ではなく方向性を出した時点としての中間報告までが委員任期の一区切りと考えている。中間報告書の提出後は、町民意見を聴取しながら、さらなる本格的な具体案を検討していくこととなる。

●次回会議を12月頃とし、中間報告書の案を一度お示した上で肉付けを行いたいと考える。

(3) その他

4. 閉 会